

岡山大学環境管理センター公開講演会のご案内

みんなで創る明日の環境社会

開催日時:平成20年6月26日(木)14:00~17:00

会場:岡山大学創立50周年記念館

岡山市津島中1-1-1 (津島キャンパス)

会場ホームページ <http://www.okayama-u.ac.jp/50kinenkan/kinenkan-index.htm>

交通:岡山駅前から岡電バス「岡山大学・妙善寺」行に乗車、「岡大西門」下車徒歩約1分

岡山駅西口から岡電バス「岡山大学・岡山理科大学」行に乗車、「岡大西門」下車徒歩約1分

できるだけ公共の交通機関をご利用ください

主催:岡山大学環境管理センター

プログラム:

- ① (14:00~14:05) 「挨拶」 岡山大学環境管理センター センター長 山本 晋
- ② (14:05~14:15) キーノート「私たちの社会と循環の輪」
岡山大学環境管理センター 准教授 石黒 宗秀
- ③ (14:15~15:30) 「環境都市水俣の取り組み:風と土の地元学」
地元学ネットワーク主宰(前水俣病資料館館長・元水俣市環境課長) 吉本 哲郎
- ④ (15:45~17:00) 「市民にとって自然環境とは何か:百姓仕事と田んぼのめぐみ」
農と自然の研究所代表理事・百姓(元福岡県農業改良普及員) 宇根 豊

吉本 哲郎:「ないものねだり」でなく、住民協働で、地域にあるものを調べる「あるもの探し」と、水のゆくえを調べた「水の経路図」づくり等を行い、悲惨な公害で病んだ水俣市をみんなで環境都市に再生。「自然と生産と暮らしがつながり、常に新しい物を創り出す力を持っている地域」をつくることを目標としている。その取り組みを地元学と称し全国各地で実践している「地元学」の創始者。寄稿:「地域から変わる日本 地元学とは何か」現代農業 2001年5月増刊。

宇根 豊:福岡県農業改良普及員時代(1973-97)、減農薬運動を提唱し、定着させた立役者。現在は、百姓をしながら、環境稲作の開発にとりくむ。減農薬栽培の試みとそれを通じて見えてくるもの、農から探る新たな自然観などを社会に伝えている。農と自然の研究所の活動が評価され、第7回「明日への環境賞」(朝日新聞社)受賞。著書:「田んぼの忘れもの」葦書房、「天地有情の農学」コモンズ、「国民のための百姓学」家の光協会、等多数。

参加費無料、参加申込不要

一般市民、学生、大学関係者どなたでも自由に参加いただけます

問合せ先:岡山大学環境管理センター 石黒宗秀・竹内文章

E-mail: acest@cc.okayama-u.ac.jp

電話・FAX: 086 (251) 8875 ・ 7279

6月は環境月間です